

日本ポリアミン学会第5回年会 研究発表プログラム

Proceedings of the 5th Annual Meeting of the Japanese Society
of Polyamine Research

会期：2014年1月23日（木）～1月24日（金）

会場：千葉科学大学マリーナキャンパス
防災シュミレーションセンター
千葉県銚子市潮見町 15-8

年会担当：柏木 敬子

千葉科学大学・薬学部・病態生化学研究室

第5回年会プログラム (以下、敬称略)

第1日目 平成26年1月23日(木)

開会の辞 (13:00 - 13:10) 挨拶 年会世話人
千葉科学大学学長 赤木 靖春

セッションI 微生物とポリアミン(1) 座長: 大島 泰郎
鈴木 秀之

1P-01 (13:10 - 13:25)

高度好熱菌 *Thermus thermophilus* の分岐ポリアミン合成に関わる遺伝子と酵素

○大島 泰郎¹, 森屋 利幸¹, 藤原 伸介²

(¹共和化工・環境微生物学研究所、²関西学院・理工)

1P-02 (13:25 - 13:40)

酸化ストレス下におけるポリアミンモジュロンの生理的役割解明

○山本 拓¹, 吉田 健人¹, 照井 祐介¹, 坂本 明彦¹, 山本 兼由², 石浜 明²,
鈴木 秀之³, 五十嵐 一衛^{4,5}, 柏木 敬子¹

(¹千葉科学大・薬、²法政大・生命科学、³京都工芸繊維大院・工芸科学、⁴千葉大院・薬、
⁵アミンファーマ研)

1P-03 (13:40 - 13:55)

大腸菌におけるプロテシシン生産能の向上

○古道紗斗里, 鈴木秀之

(京都工芸繊維大院・工芸科学)

1P-04 (13:55 - 14:10)

大腸菌のバイオフィルム形成に及ぼすプロテシシンインポーターPlaP とスペルミジンの影響

○掛川苑美, 鈴木秀之

(京都工芸繊維大院・工芸科学)

休憩 (14:10 - 14:30)

セッション II 発生・分化とポリアミン

座長：高尾 浩一
植村 武史

1P-05 (14 : 30 - 14 : 45)

アクチビンによる中胚葉誘導に対するポリアミンの作用

○高井惇一¹，高橋宣治²，五十嵐一衛⁴，塩川光一郎^{1,2,3}

(¹帝京大院・理工、²帝京大・理工、³帝京大・医療技術、⁴千葉大院・薬)

1P-06 (14 : 45 - 15 : 00)

アフリカツメガエル尾芽胚の組織形成に対するスペルミンの影響

○吉田和史¹，近藤剛士¹，五十嵐一衛²，竹林公子³，鈴木厚³，塩川光一郎^{1,4}

(¹帝京大院・理工、²千葉大院・薬、³広島大院・理、⁴帝京大・医療技術)

1P-07 (15 : 00 - 15 : 15)

糖毒性に対するポリアミン防御機構

○松本靖彦¹，東恭平²，五十嵐一衛²，関水久¹

(¹東大・薬、²千葉大院・薬)

1P-08 (15 : 15 - 15 : 30)

精神疾患患者の生活習慣病、動脈硬化性疾患の実態に関する研究

○神崎哲人¹，鶴重順康²，関根慶輔²，石井千博²，吉見太郎²，安井玲子²，安川明香²，
佐藤護²，岡元誠²，久岡哲也²，三浦正史²，草西俊²，村上佳奈子²，中野知恵子²，
水田康彦²，三島修一³，五十嵐一衛⁴，瀧澤毅¹，早川達郎²

(¹千葉科学大・薬、²国立国際医療研究センター一国府台病院精神科、³国立国際医療研究センター一
国府台病院内科、⁴アミンファーマ研)

1P-09 (15 : 30 - 15 : 45)

スペルミン酸化酵素 SMO は毛細胆管の形成に必要である

○植村武史，池谷博

(京都府立医大院・医)

1P-10 (15 : 45 - 16 : 00)

骨格筋幹細胞に及ぼすポリアミンの役割

○山澤徳志子¹，大野哲生¹，大城戸真喜子²，山本裕大¹，山口真紀¹，竹森重¹

(慈恵医大・¹分子生理、²分子生物)

休憩 (16 : 00 - 16 : 20)

特別講演 (16 : 20 - 18 : 20)

1. (16 : 20 - 16 : 50) 座長 : 五十嵐 一衛
錦 ゆりか (Indiana University, School of Medicine, USA)
膵臓 β 細胞における eIF5A のハイプシン化と iNOS 翻訳は p38MAPK 依存的に核内輸送された DHS によって制御される

2. (16 : 50 - 17 : 20) 座長 : 川喜田 正夫
五十嵐 一衛 (千葉大院・薬, アミンファーマ研究所)
細胞傷害時にポリアミンから産生されるアクロレインの毒性とその臨床応用

3. (17 : 20 - 17 : 50) 座長 : 早田 邦康
川喜田 正夫 (東京都医学研・病院連携研究)
 N^1, N^{12} -ジアセチルスペルミンとその臨床応用に向けた取り組み

4. (17 : 50 - 18 : 20) 座長 : 大澤 仲昭
早田 邦康 (自治医科大学附属さいたま医療センター)
ポリアミンによる哺乳類のアンチエイジング

懇親会 (19 : 00 -)

一山いけす

千葉県銚子市黒生町 7387-5

TEL:0479-22-7622

<http://www.ichiyamaikesu.co.jp/>

第2日目 平成26年1月24日(金)

セッション III 微生物とポリアミン(2)

座長：松本 光晴
栗原 新

2A-11 (9 : 10 - 9 : 23)

高度好熱菌 *Calditerricola satsumensis* YM081 株が作るポリアミンの解析

○森屋利幸, 大島泰郎

(共和化工・環境微生物学研究所)

2A-12 (9 : 23 - 9 : 36)

細菌の細胞外シグナル分子としてのポリアミンとその輸送

○栗原新¹, 鈴木秀之², Otto Phanstiel IV³, Philip N. Rather⁴

(^{1,2,4}石川県大・腸内細菌共生機構学、²京都工繊大院・工学科学、³University of Central Florida、⁴Emory University School of Medicine)

2A-13 (9 : 36 - 9 : 49)

安定同位体アルギニンを用いた腸内常在菌によるプトレッシン産生経路の解明

○中村篤央, 松本光晴

(協同乳業(株)研究所)

2A-14 (9 : 49 - 10 : 02)

腸内細菌の共同作用による新しいプトレッシン生合成経路の探索

○北田雄祐, 村松幸治, 松本光晴

(協同乳業(株)研究所)

セッション IV 植物とポリアミン

座長：草野 友延
高橋 卓

2A-15 (10 : 04 - 10 : 17)

イネにおけるポリアミン分解系：逆変換経路と末端分解経路

○刘太波¹, 金東煜¹, 新津勝², Berberich Thomas³, 草野友延¹

(¹東北大院・生命、²城西大・薬、³BiK-F)

2A-16 (10 : 17 - 10 : 30)

シロイヌナズナにおけるポリアミン酸化酵素5の生理的機能

○金東煜¹, 新津勝², Berberich Thomas³, 草野友延¹

(¹東北大院・生命、²城西大・薬、³BiK-F)

2A-17 (10 : 30 - 10 : 43)

シロイヌナズナの *SAC51* mRNA 翻訳に対するサーモスペルミンの作用機構

高野綾香, 蔡青々, 福島弘子, 石井菜水, 本瀬宏康, ○高橋卓

(岡山大院・自然科学)

2A-18 (10 : 43 - 10 : 56)

サーモスペルミン合成阻害剤によるシロイヌナズナ道管分化機構の解析

○吉本香織, 高村浩由, 門田功, 本瀬宏康, 高橋卓

(岡山大院・自然科学)

休憩 (10 : 56 - 11 : 15)

セッション V ポリアミンとその代謝物の解析

座長 : 新津 勝

河合 剛太

2A-19 (11 : 15 - 11 : 28)

健常者尿中の N^1 , N^{12} -ジアセチルスペルミン

○平松恭子¹, 斎藤文子¹, 高浜恵美¹, 藤江奈々², 森谷俊介¹, 坂口幸治³, 高橋慶一⁴,
川喜田正夫¹

(¹東京都医学研・病院連携研究、²工学院大学・工、³長野県立須坂病院・呼吸器外科、
総合診療科、⁴東京都立駒込病院大腸外科)

2A-20 (11 : 28 - 11 : 41)

GC 及び逆相 HPLC による誘導体化ポリアミンの分離

○新津勝, 池尻靖之, 志賀茉紀, 庄巻騎, 山崎健一, 沼尻幸彦, 古地壯光

(城西大・薬)

2A-21 (11 : 41 - 11 : 54)

スペルミン酸化酵素による基質認識

○高尾浩一¹, 白幡晶¹, 池口文彦¹, 五十嵐一衛^{2,3}, 杉田義昭¹

(¹城西大・薬、²千葉大院・薬、³アミンファーマ研)

2A-22 (11 : 54 - 12 : 07)

スペルミンに結合する RNA アプタマーの結合様式の解析

○柳田明日美¹, 藤枝裕大¹, 小黑明広², 松藤千弥², 河合剛太¹

(¹千葉工大・工、²慈恵医大・分子生物)

昼食・評議員会 (12 : 07 - 13 : 10)

セッションVI ポリアミンとその代謝物の医療応用

座長：大城戸 真喜子
西村 和洋

2P-23 (13 : 10 - 13 : 23)

ポリアミン経口摂取による肝再生促進効果

○渡邊卓巳¹, 土井淳司^{2,3}, 藤本康弘^{2,3}, 坂野綾子¹, 伊地知哲生¹, 寺谷工²

(¹コンビ株式会社、²自治医大・先端治療開発部門、³京都大・医)

2P-24 (13 : 23 - 13 : 36)

ポリアミン投与による低栄養モデルマウスへの影響

○福留博文¹, 渡辺汐美¹, 小西享², 中埜拓¹

(¹ビーンスターク・スノー(株)、²興人ライフサイエンス(株))

2P-25 (13 : 36 - 13 : 49)

アンチザイム1ノックアウトマウスにおける長期造血再構築をもつ細胞の特徴

○大城戸真喜子, 松藤千弥

(慈恵医大・医)

2P-26 (13 : 49 - 14 : 02)

脳梗塞モデルマウスにおけるアクロレイン産生と代謝に対する加齢の影響

○西村和洋¹, 石橋美咲¹, 斎木遼太郎^{1,2}, 國恭司郎¹, 戸井田敏彦¹, 五十嵐一衛^{1,2}

(¹千葉大院・薬、²アミンファーマ研)

2P-27 (14 : 02 - 14 : 15)

アクロレイン耐性細胞 Neuro2a-ATD-2 の毒性解除機構の解明

○中村瑞穂¹⁻³, 坂本明彦³, 照井祐介³, 富取秀行³, 斎木遼太郎^{1,2}, 吉田円², 五十嵐一衛^{1,2}, 柏木敬子³

(¹千葉大院・薬、²アミンファーマ研、³千葉科学大・薬)

2P-28 (14 : 15 - 14 : 28)

シェーグレン症候群患者唾液中におけるアクロレイン化タンパク質の機能解析

○斎木遼太郎^{1,2}, 廣瀬直雄¹, 鈴木健裕³, 益田晶子³, 堂前直³, 伊藤聡^{4,5}, 高橋芳右⁵, 戸井田敏彦¹, 柏木敬子⁶, 五十嵐一衛^{1,2}

(¹千葉大院・薬、²アミンファーマ研、³理化学研究所、⁴新潟県立リウマチセンター、⁵新潟県立加茂病院、⁶千葉科学大・薬)

総会（14：30 - 15：15）

閉会の辞